

# 研究実施のお知らせ

【プロトンポンプ阻害薬の処方実態調査研究】

2025年1月11日 ver1.2

## 研究課題名

国民医療費削減に資するプロトンポンプ阻害薬の“不適切処方”に関する実態調査研究

## 研究の対象となる方

2022年1月1日から2022年12月31日に、当院（島根大学医学部附属病院）の集中治療室（ICU）、ハイケアユニット（HCU）、および救命救急センター病棟/E-ICUに入院した患者さん、2022年のある一日（2022年1月1日から2022年12月31日の期間内のある一日。日は未決定。）における、当院（島根大学医学部附属病院）で入院および外来受診をされた患者さん、2022年1月1日から2022年12月31日に、当院（島根大学医学部附属病院）の外来通院者のうち、PPIを処方されている患者さん。

## 研究の目的・意義

プロトンポンプ阻害薬（以下 PPI とします）は、胃酸分泌を抑制することにより、幅広い胃酸関連疾患の予防および治療において重要なキードラッグであり、その処方は日本を含めた全世界で増加し続けています。PPI の過剰処方・不適切処方は世界各国で指摘されています、日本における PPI の過剰処方・不適切処方については十分に検討されていません。そこで、本研究では、日本における PPI 処方が適切であるかを検討することを目的とします。PPI の処方の実態を把握し、この処方についてその妥当性を検討し、もし不適切と考えられる処方がある場合は、その実態と背景を明らかにし、それを抑制する方策を提言することにより、医療適正化を図り、現在の日本の医療に急務である国民医療費削減に貢献することを目指します。

## 研究の方法

本研究は、当院（島根大学医学部附属病院）のレセプトデータおよび診療録を用いた後ろ向き観察研究です。具体的には、当院のレセプトデータおよび診療録の中から、本研究に必要な情報を抽出し、それらのデータを統計学的に分析・検討します。具体的に抽出するデータは、研究対象者となる患者の基本データ【性別、年齢、身長、既往歴、薬剤歴（入室時の PPI 投与の有無も含む）、家族歴、ADL の情報、介護度など】、ICU、HCU、救命救急センター病棟/E-ICU に入院した入室日、治療対象となった

主病名、基礎疾患、レセプト病名（通院中の主病名を含む）、重症度、DICの有無、各種検査項目【血算（WBC数、RBC数、Hb、Hct値、血小板数、白血球分画など）・凝固（PT、APTT、フィブリノゲン、FDP、Dダイマーなど）・生化学（肝機能、胆道系酵素、ビリルビン、腎機能、UA、電解質、CRP、PCT、BNP、トロポニン、CK、血糖など）など】、入室期間、退院日、予後、診療科、行った手術・対応・インターベンション、PPIの投与期間（開始日、中止されたか、中止された場合にはその中止日など）、PPIの投与経路、使用されたPPI、PPI導入の根拠となった病名、レセプト病名、フォローの上部消化管内視鏡が行われたかどうか、経過中に投与量が減量されたか、代替薬に変更されたか、他に併用された薬剤、入院歴があればICU・HCU・E-ICUでの入室歴の有無等の情報などです。

調査結果は、島根大学医学部救急医学講座で厳重に管理します。情報を保管するPCおよびハードディスクにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限し、特定の研究者により解析を行います。この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

### 利用する情報の項目

上記（研究の方法の章の中の「具体的に抽出するデータ」）に記載した項目を計画しています。

### 研究の期間

2023年3月29日～2027年03月を予定しています。（場合によっては研究期間が変更になる場合がありますが、その際には、本オプトアウト情報を適宜更新します）

### 研究組織

この研究は、島根大学医学部救急医学講座 佐藤利栄を研究責任者とした、院内の研究チームが行います。

### 情報の利用停止

本研究の対象者およびご家族の方の、本研究におけるデータ利用差し止めのご希望は、島根大学医学部救急医学講座まで問い合わせください。また、お申し出は、2025年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

### 相談・連絡先

相談、疑問などのお問い合わせは、以下までお願いします。

島根大学医学部救急医学講座  
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1  
TEL: 0853-20-2402